



YMCA News

11

2025年11月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒321-0904
宇都宮市陽東4-18-30
TEL:028-624-2546
FAX:028-624-2489
<https://www.tochigiymca.org>
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA



YMCAを通して

とちぎYMCAユースボランティアリーダー
小林 亜望（なっぱリーダー）

表紙の写真から、とちぎY野外クラブの活動にて。植えた苗が金色に育ちました。

大学入学後、何かサークルに入りたいと思っていたとき、大学の友人に誘われて参加したのがYMCAでした。「子どもが好きだから行ってみようかな」という気持ちで参加した初めての活動は、ふくしま湖畔キャンプです。何も分からないままリーダー会に参加し、話し合いを重ねて迎えた当日。大きな声で「なっぱ!」と呼んでくれる子どもたち、笑顔で全力で遊ぶ子どもたち、全員で活動を作り上げていくそのすべてが楽しく、最高の思い出になり、もっとYMCAの活動に関わりたと思う大きなきっかけになりました。

その後、野外クラブやキャンプ、他県のYの方々との交流など、さまざまな活動に参加しました。最初は「楽しい!」「子どもたちに会いたい!」という気持ちで参加していましたが、今では子どもたちが失敗も成功も「いい経験だった」と感じられるように、そしていつか思い出したときに「あのとき楽しかったな」と思ってもらえるようにという気持ちで活動に取り組むようになりました。私はYMCAでの日々を通して、自分の気持ちや考えを表現することの大切さを学びました。これまでの私は、言いたいことがあっても意見を出せなかったり、自分の気持ちをうまく言葉にできなかったり、周りに合わせてしまうことが多くありました。しかし、活動

を通して、子どもたちが全力で取り組む姿や、思いがすれ違いながらも一生懸命気持ちを伝えようとする姿を見て、私は自分を表現することの大切さを学びました。例えば、他のリーダーや子どもたちが全力で楽しむ姿を見ると、私も楽しくなり、自分の感情を素直に出すことで、その楽しさを周りにも広げられることを実感しました。この経験を踏まえ、今後たくさんの活動に参加し、子どもたちが自由に自分を表現できる場所、そしてリーダーたちも自分らしく表現できる場所をつくってみたいです。そのために、どんな意見や気持ちも受け止め、安心して自分を出せる雰囲気大切にしたいと思います。私自身も、嬉しいときや楽しいときは笑い、悔しいときは悔しがするなど、自分の感情を素直に表現することで、周りにもその楽しさや思いを広げていきたいです。

私にとってYMCAは、自分を表現できる場所です。どんな自分も受け入れてくれ、貴重な経験や成長を与え、私の人生を豊かにしてくれます。さまざまな活動を通して、自分と向き合うことができたのも、YMCAで得られた大切な経験です。そんなYMCAに出会えたことを、私は本当に嬉しく思っています。これからも、子どもたちと一緒にたくさんの経験をしていきたいです。

とちぎYMCAの使命

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2025年度とちぎYMCA年間聖句
《善きサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章25節～37節



ひがしやま アトムクラブ

初秋の 子どもたちの様子



朝夕めっきり涼しくなり、秋を感じる季節になりました。

子どもたちは学校から帰ると、宿題やゲームなど思い思いの時間を過ごします。1年生の子どもたちも2学期になると学校に慣れたようで、一人ひとり、遊びに自主性を持って塗り絵・折り紙・お店屋さんごっこなどの室内遊びに夢中になっています。中には卓球や風船バレーをする子もいます。晴れていると「外に遊びに行こう行こう!」と嬉しそうな声が聞こえます。小学校の校庭では、サッカー・バスケット・ブランコ・ジャングルジム・砂遊びなどでワイワイ楽しく遊びます。子どもの成長には目を見張るものがあります。生活の中で様々な経験を通して成長へと繋がります。私達スタッフも子どもたちを尊重し、より良い育成支援ができる様に努力したいと思います。

ようとう保育園

ようとう保育園 異動の挨拶



今年度より、アフタースクール事業部より異動となりました平山雄大（ひらやまたけひろ）です。4月1日からようとう保育園へ出向となっていました。アフタースクール事業部との兼ね合いで午前中はようとう保育園で事務仕事を行い、午後はゆいの杜の主任代行を務めておりました。10月1日より主任が交代となり、ようとう保育園の専任となりました。保育の現場に入るのは前職の幼稚園教諭以来だったため、当初は乳児の食事助などに戸惑いがありました。異動したての時は事務所にいることも多く、午後はゆいの杜に行っていることもあり、連日保育園内の掃除などをしてしていると年長さんから「いつもお掃除しているね」「お掃除ロボットだ!」など先生として認識されていないこともあり。これからは、子どもたちや保護者の方々から先生として認識され、ようとう保育園に繋がる人たちの力になれるように努めてまいります。

こどもの家 瑞穂台小 みず台クラブ

みず台クラブの 日常



暑い夏がようやく終わりを告げ、急に秋めいてきました。子どもたちは、先月まで厳しい暑さで思うように外に出られなかったため、現在では外遊びを思いっきり楽しんでます。

バスケットボールやサッカー、野球、バトミントン、ドッジボール、虫捕り、砂遊び、一輪車、竹馬・・・みんな外遊びが大好きです。

また、夏の間に流行っていた折り紙も、引き続きブームが続いています。

みず台クラブでは昔から折り紙が人気で、毎年必ず折り紙が得意な子がいます。

「ORIROBO」や、くす玉、3センチ角の紙の折り鶴などなど、女の子はもちろん、男の子たちの器用さに驚くことが多々あります。

日々来所する、100名ほどの子どもたち。それぞれが安全に、安心に、心地よく過ごせる場所にできるよう、私たちの探求は続きます。

国際

「アドボの日」 ご協力ありがとう ございました。



9月13日（土）に「アドボの日」をさくらんぼ幼稚園にて開催しました。

国際協力募金活動の一つとして、フィリピンの定番家庭料理アドボを提供しました。ニンニク、酢、醤油で煮込んだこの料理は残暑にぴったりな料理です。前日の玉ねぎ切りや当日の準備に手伝ってくださったボランティアの方々の力で美味しくできたアドボをみなさまに食べて頂きました。その他にも、皆さまから寄付いただいた、スナック・オレンジヨーグルトムース、パン、手作り腕時計、初お披露目のガチャポンの売り上げは、ミャンマー地震募金に寄付させていただきました。

皆さまのご協力ありがとうございました。収益金は18,808円となり、とちぎYMCA国際協力募金に寄付させていただきました。ご寄付とボランティアの協力も有難うございました!

【ご寄付：お米、スナック、ガチャポン】山下様、小宮山様、大浦様、藤生様

【ボランティア：13日・14日】山下様、藤生様

デイホーム きよはら

～敬老祭～



9月15日 敬老祭が開催されました。ボランティアの芸者さんをお招きして、ささやかではありますがお祝いをさせていただきました。

デイホームきよはらでは、60代の方から100歳以上の方までいらっしゃいます。最高齢者はなんと103歳!! みなさんとってもお元気です。

これからも元気なお顔を見せてくださいね。

宇都宮市 まちづくり センターまちびあ

『コドモール』を 開催しました!



2025年8月22日(金)に、小学生が店長さんのマルシェ「コドモール」をまちびあで開催しました!

ユーススタッフを中心として企画したこのイベントでは、子どもたちが、当日までに工夫を凝らして作った手作りの品を利用者の方々に販売しました。みんな自分の得意を活かしたものづくりをしており、自慢の商品を店先に並べるのがとても楽しそうでした。保護者の方も一緒に座って温かい目で見守っており、笑顔が溢れる時間になったと感じています。最後はどの店舗もほとんど完売し、大満足で帰っていく子どもたちを見送ることができました。

今回は11月15日(土)のまちびあ祭りにて開催いたします。ご興味がある方は是非とも足を運んでください!

メディアリテラシー講座の報告

”知ろう！””考えてみよう！” 情報を正しく読み取るためのヒント

9月13日(土)に熊倉百合子さんを講師にお迎えして、インドネシアでの生活体験を伺いながら、写真を使って情報の見極めや読み取り方を教えていただきました。

講座冒頭に、身近にあるモノの原料がどこから来るのかを当てるゲームを行いました。答えを聞くと、初めて耳にする国や日本から遠い国であることに驚きました。自分たちがどこの国から来たものなのかを知らずに、モノを日々使っていたのかと気づかされました。また、インドネシアで撮影された写真の一部を見て、何を写した写真かを推測した後、解説を聞くと、推測とは全く違う答えでした。「切り取られた情報は、発信者の意図がある」ので、「しっかりと批判的に読み取る力をつけることが大切」と学ぶことができました。

情報を誤解してしまうのは、先入観や経験値を元に推測してしまうからということに気づかれ、「情報を正しく読み取る」力を身に付けることの大切さを感じました。



体験と学びを。
安心と楽しさを。

学校の外の文化祭mini

—不登校の子どもたちとその家庭を応援したい。—

とちぎYMCAでは2025年10月5日(日)に、トライ東・まちびあの協働プログラム「学校と外の文化祭ミニinトライ東」を開催しました。

本イベントは、学校に行かない・行けない子どもたちにも、文化祭のような楽しい1日を提供したい。そんな思いで始まった取り組みです。2025年6月に第1回企画を実施し、100名以上の方にご参加いただきました。今回はそのミニ企画となっていて、普段フリースクールなどの居場所で子どもたちと関わる方はもちろん、地域の方々も含めたあたたかなメンバーで企画、運営を行いました。キーワードは「安心」と「自由」。子どもも大人もほっとできる時間になりました。



実施内容

【波の絵アート(レジンを使ったコースター作り)】

参加者それぞれが思い思いの海の風景をレジンで表現し、世界に一つだけのコースターを制作しました。初めてレジンに触れる子も多く、完成した作品を手にして達成感に満ちた表情が印象的でした。

【ボードゲーム・ルービックキューブ体験】

自由に遊べるスペースでは、ボードゲームやルービックキューブを通じて自然な交流が生まれました。初対面でもゲームを通じて打ち解ける姿が多く見られ、笑い声が絶えない時間となりました。

【不登校に悩む親の茶話会(親の会 フリーランドさん)】

保護者向けには、同じ悩みを持つ方々が気軽に話せる茶話会を開催。

【ギター体験(みゆスタさん)】

ギター体験ブースでは、実際に楽器に触れながら音を鳴らす楽しさを味わってもらいました。講師のサポートのもと、簡単なコードを弾いてみたり、音楽を通じて自己表現の喜びを感じる場となりました。

【カレー(つぼみ食堂)】

高校生ボランティアグループ「つぼみ食堂」の皆さんが、心を込めて作ったカレーを提供してくださいました。温かい香りに包まれた会場では、参加者が笑顔でカレーを囲みながら会話を楽しむ姿が見られました。

～運営協力団体～

NPO法人キーデザイン

親の会 フリーランド

高校生ボランティアグループつぼみ

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

～ブース協力団体・ブース協力者～

親の会 フリーランド

みゆスタ



認定こども園さくらんぼ幼稚園

「 運動会の様子 」

年少組の子どもたちにとって初めての、戸祭小での運動会！たくさんのおうちの方々に、緊張で泣いてしまう子もいました。しかし、そんな姿も可愛らしく、とても微笑ましい時間でした。

転んでも最後まで走ったかけっこ、ベイマックスに変身したお遊戯、友だちと力をあわせた追いかけ玉入れ、どれも一生懸命頑張りました。来年の運動会での成長が楽しみです！



塩澤総主事の、

VOL. 43
月刊
ハッシュタグ
#

なにそれなにそれ

#稲盛和夫 #余島キャンプ場
#近江建助 #レスポール
#パンク・ロック

京セラ創業者の稲盛和夫さんは人間には燃え方で3つのタイプがあると語ったそうです。自分で燃え上がる自然性の人、火を近づけても燃えない不燃性の人、燃えるリーダーは小集団を率い、燃えさせられる人を巻き込み、

燃えない人に対しては「すべての人には可能性がある」という信念で教育・哲学共有で変えていくことを試み、結果、全体を活性化させることを稲盛流の経営哲学としたそうです。

いっぽう、「燃えてなにをするの？/なんのために燃えるの？」について歌ったキャンプソングに『薪のような人になろう』（原案：近江建助 詞/曲：川上盾 神戸Y余島キャンプ場由来）があります。詳しくは→ <http://kore3net.com/SongBook05/pg197.html>

この歌を夏の全国YMCA専門職管理者研修の閉会で同盟総主事田口さんが紹介され、みなで歌ったとのことでした。マイホームきよはらから研修参加の介護主任ヤマトサンはこの歌にハマリ、研修から1か月たった頃「職場で歌おうと思うんです！」「コトバで説明するよりこの歌のほうが研修で学んだことを伝えられると思んです」と話してくれ、たいへんうれしい気持ちになりました。

そのとき彼が黒いレスポール・ギターを持っていたので「なぜ？」と訊くと、『薪のような人になろう』をAIでアレンジしたとのことでした。アプリで聴かせてもらったパンク・バージョンの『薪のような人になろう』はとても良かったので、「クリスマス会で一緒に演ろう！」と話がまとまりました。

先日失礼ながらお電話にて作者の牧師川上盾先生に編曲のご許可を伺ったところ、何と！ご寛大にもご理解をいただきました！ありがとうございます。

とはいえ、このアレンジが歴史的価値の余島キャンプ場と近江建助さんへのリスペクト、また研修の感動の表現としてOKなものか？はまたお叱りをいただく類のものなのか？お聞かせするのは怖いですが；



希望ある豊かな社会に。
平和を実現していくチカラに。
「よくなる」連鎖をYMCAと。

現在の《とちぎYMCA》は、社会の資金で賄われる制度事業の“外側に新しい活動”を拡げております。

官と民間の活動をあわせもつYMCAですが、みなさまからの貴重な寄付によって、フレキシブルで、創造的で、ボランティアな部分を表現する最もYMCAらしい活動を継続することができま。みなさまのお支えによって続けられますことに感謝申し上げます。



【新規申込み方法】

- ☐ お電話 (028-624-2546) 資料をお送りいたします。
 - ☐ ホームページより (QR コード)
 - ☐ 各YMCA 事務所にて
- 【継続申し込み】
- ☐ 維持会員費をお支払いください。
 - ☐ ホームページより (QR コード)
 - ☐ 各YMCA 事務所にて

希望あるより豊かな社会に。
平和を実現していくチカラに。
「よくなる」連鎖をYMCAと。

Encounter
Connect
Transform

みつかる。つながる。よくなっていく。

とちぎYMCA
個人会員
法人会員

とちぎYMCA 維持会員・法人会員

募集中